



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港分室
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 0543-52-4146
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

北側国土交通大臣 清水港視察

6月17日(土)午前、北側一雄国土交通大臣が鬼頭前港湾局長、石川静岡県知事、小嶋静岡市長らとともに、清水港、由比地すべり対策事業、第二東名の工事現場や巴川流域総合治水対策を視察しました。

清水港では、監督測量船「まさき」に乗船し、新興津地区にて国際海上コンテナターミナルの現状を視察。その後、清水港管理局内の津波防災ステーションにて津波対策の説明を受け、電動陸閘の開閉状況を視察しました。



〈津波防災ステーション〉

午後からは静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)にて静岡県主催の防災対策をテーマとした講演を行い、地震対策の重要性を強調しました。

『海の日』の記念式典

7月19日(水)に清水日の出センター(マリビル)において、「海の日」の記念式典が開催され、海事関係功労者、海の図画コンクールの優秀者など、総勢約100名の方々が表彰されました。中部地方整備局では、局長表彰の2名・2団体、事務所長表彰の1団体、感謝状の7団体を、当事務所長 澤田が表彰状・感謝状を授与しました。

【中部地方整備局長表彰】

◇港湾事業功労表彰

清水港利用促進協会 会長 鈴木 与平 氏

◇優良工事表彰

鈴与建設株式会社

◇永年勤続表彰

鈴与建設株式会社 岩本 一成 氏
有限会社 伊豆海洋 胎中 三郎 氏

◇海をきれいにするための一般協力者表彰

御前崎エコクラブ

【清水港湾事務所長表彰】

◇優良工事表彰

清水港経常建設共同企業体

【清水港湾事務所長感謝状】

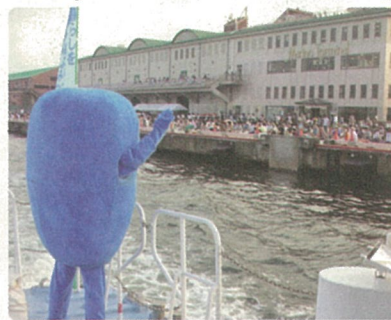
◇港湾建設功労表彰

株式会社 花村組
有限会社 花崎海洋土木
株式会社 東栄
竹中重機 有限会社
株式会社 NTT東日本一神奈川
オーク建設工業 株式会社
株式会社 茂木組



清水みなと祭りに参加

8月6日(日)に、第59回清水みなと祭り海上花火大会が行われました。セレモニーとして「呼び出し太鼓」「次郎長道中」「かっぽれ踊り披露」「海で働く船舶のパレード」「はしご乗り」「夢花火の表彰」があり、当事務所は清水港の安全と港湾を管理する船舶と機関を紹介することを目的とした「海で働く船舶のパレード」に協力をしました。当日は当事務所イメージキャラクター「ベェズ」も監督測量船「まさき」に乗船し、セレモニーを盛り上げました。



市民ふれあいイベント

9月2日(土) 静岡建設業協会が主催する市民ふれあいイベントに、清水港湾事務所もPRブースを出展しました。このイベントは、市民の皆様へ「建設業」及び「建設行政」をPRする事などを目的としたイベントです。

当事務所では、「清水港は、市民の方々と密接な関わりがある」と言うことを改めてご理解頂く事を目的として、ブースへお越し頂いた方々に、清水港にちなんだ簡単なアンケートとクイズを出題しました。

清水港に訪れた事のある方が回答者のおよそ9割を占める状況でしたが、回答に手こずる方も多く、こちらからヒントを説明させて頂きながら、理解を深めて頂きました。お帰りの際には「また(清水港に)行きたい、清水の街を良くする計画が進んでいる事を初めて知った。」等の感想を頂きました。今後も私ども清水港湾事務所では、港の重要性を知っていただくため、様々な取組を行って参ります。



〈青葉公園にて〉

体験学習による清水港観光交流促進協議会の連携・協力



7月27日(木)にNPO法人三保の松原・羽衣村と協働で「みなと見学会」を実施。7月28日(金)には、しずおか体験教育旅行(旧：静岡教育旅行誘致協議会)の静岡・清水地区体験モニター旅行に協力しました。

今回の取り組みは、昨年当事務所で取り組んだ“体験学習による清水港観光交流促進協議会”で作成した「清水みなと観光交流促進計画」に基づき実施しています。

みなと見学会では、前日に開催された「三保の松原・羽衣塾」(会場：清水テルサ)に参加された方を対象とし、海から羽衣の松を見よう！をコンセプトに開催。参加者は普段見ることが出来ない視点からの“羽衣の松”に感動していました。

静岡・清水地区体験モニター旅行(主催：しずおか体験教育旅行)では、東京都、神奈川県、山梨県の小中学校の先生を対象に、一泊二日の体験旅行を実施。当事務所では2日目の意見交換の会場提供に協力しました。先生からは「清水港の活気が伝わった。」「こんな近くに素晴らしい体験場があった。」などと言った意見が飛び交い、清水港の良さを再認識して頂けたと思います。



第10回海の日記念フェスティバル

7月16日(日)、17日(月)の両日、御前崎市と牧之原市の共催で「第10回海の日記念フェスティバル」が御前崎港にて開催されました。



昨年までは、「海の日記念セーリング大会」として開催されましたが、10年目の今年は、カヌーやヨット、ウインドサーフィン等の海洋スポーツ体験や、釣り教室・釣り大会等を通して海とふれあい、海に関心を持ってもらうことを目的とした市民参加型のイベントとして内容を一新しました。

御前崎港事務所では、17日(月)に監督測量船「ふじ」による御前崎港内施設の見学会を実施し、船上から港の姿を合計148名(子供含む)の方に見て頂きました。

田子の浦港 海交流2006

7月16日(日)に市民や観光客が海に親しむ拠点となる「海の駅」を整備していくことを目指し、田子の浦港(富士埠頭・鈴川埠頭)にて海交流2006が開催されました。港の西側、富士埠頭では夕方から「田子浦みなと祭り」が行われ、港の東側、鈴川埠頭では「モトマリンフェスタ」が行われ、多くの人達で賑わいました。



マリンフェスタ下田2006

夏の訪れと共に「マリンフェスタ下田2006」が7月14日(金)～16日(日)にかけて、主催：下田青年会議所 後援：下田港事務所で開催されました。

「海とみなと」に着目し地域振興を図る目的で、海上パレードや子供体験クルーズなど、さまざまなイベントが行われている中、下田港事務所もPRブースを出展し、下田港防波堤工事に関するPR活動を行いました。猛暑+強風の中思うようなPRができない場面もありましたが、なんとか持ちこたえ無事終了となりました。



お知らせ

ばしふいっくびいなすが寄港します

10月4日(水)清水港へ寄港します。同日14:00に清水港を出港し、老岐・長崎・天草クルーズを行い、10月10日(火)17:00に再び入港する予定です。「ばしふいっくびいなす」は199



《H16.12に寄港したばしふいっくびいなす》

8年4月に就航した、総トン数26,518ト・全長183.4メートル・全幅25メートルの「飛鳥II」に次ぐ国内2番目の大きさのクルーズ客船です。今年の1月に改装を行い、エステなどが利用できる「びいなすサロン」やスモークルームが新設され、より快適なクルーズが楽しめるようになりました。内部の見学等はできませんが、清水港で「ばしふいっくびいなす」をご覧になってはいかがでしょうか？

第6回 清水港興津FAZフェアが開催されます

「清水港興津FAZフェア」が10月29日(日)に興津国際物流センターで開催されます。今年で6回目になる「清水港興津FAZフェア」は、市民・県民の皆様には輸入商品を紹介するとともに、ガーデンポートを目指す清水港及び静岡地域の産業活性化、経済の振興を図ることを目的として開催しています。当日は輸入食品・雑貨、地元製品の展示・即売コーナーなどが予定されています。清水港湾事務所では、PRコーナーを設け写真やパネルの展示等を行います。ベエズも来ますので、皆様是非お越し下さい。



《昨年のFAZフェアの様子》

みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション（広報広聴）活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。

実施日	団体名
7月26日	清水港みなと見学会
7月27日	NPO法人 三保松原・羽衣村
7月28日	静岡市立中島小学校 5年生
8月18日	清水建設業協会 親子現場見学会
9月20日	静岡市立麻機小学校 3年生
9月28日	玉川学園小学部 3年生



管内の主な動き

7月11日	第41回「清水港・みなと色彩計画」推進協議会	7月28日	平成18年度港湾利用者懇談会
-------	------------------------	-------	----------------



お知らせ

静岡県コンベンションアーツセンターで、国際港湾協会(IAPH)常任理事会開催記念国際シンポジウム「みなとの防災～津波・高潮に備えて」が開催されます。津波・高潮対策の重要性や、災害時における心構えなどを認識していただくための基調講演や有識者による意見交換などが予定されています。皆様も参加されてみてはいかがでしょうか？

開催日時：平成18年10月12日（木）14：00～16：00（参加費無料）

場所：静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）中ホール

問い合わせ：静岡県土木部港湾総室港湾企画室 TEL054-221-3779 Fax054-221-3563

海野 孝三郎氏顕彰碑



《写真提供：清水港管理局》

清水港から初めてお茶が輸出されたのは1906年（明治39年）でした。それまで清水には再製茶工場がなく、横浜港の再製茶工場で仕上げ加工されてからアメリカなどに輸出されていたため、コストが掛かり生産者の収益は低いものでした。

清水港からお茶の直輸出ができればコスト削減もでき、輸出が促進されることから、海野孝三郎氏は静岡市に静岡製茶再製所を創設、また日本郵船との約十年に及ぶ交渉の末、外国航路を誘致する事に成功したのです。以後、清水港は日本茶の輸出港として発展していきました。

お茶輸出に尽力した海野孝三郎氏の顕彰碑が日本平山頂から、5月13日（土）に行われた「清水港お茶直輸出100周年記念」の式典に合わせ、清水マリナーパークに移設されました。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください